

大阪広域水道企業団 平成28年度当初予算案の概要

計数調整中

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

水道事業会計	平成28年度当初予算額	815億80百万円
	平成27年度当初予算額	823億94百万円
	平成27年度最終予算額	809億72百万円
	前年度比 (28年度当初/27年度当初)	99.0%

前年度当初比 △8億14百万円

(主な増減要因) 収益的支出

- ・動力費 △4億36百万円 (電気料金単価変動による減)
- ・薬品費 △2億7百万円 (粒状活性炭投入池の減)
- ・減価償却費等 △5億96百万円 (資産減耗費の減)

資本的支出

- ・改良費 16億2百万円 (中期整備事業計画に基づく事業費の増)
- ・割賦負担金 △4億10百万円 (丹生ダム分・償還表に基づく減)
- ・企業債償還金 △7億65百万円 (満期償還額の減)

上段 平成28当初

中段 平成27当初

下段 平成27最終

	事業名	事業費	主な内容
収益的収支	水道事業収益	445億16百万円 450億83百万円 451億71百万円	営業収益(浄水給水収益等) 41,595百万円 ・有収水量 511百万m ³ (前年度比 △5百万m ³) 営業外収益(長期前受金戻入等) 2,921百万円
	水道事業費用	402億81百万円 413億67百万円 396億83百万円	営業費用(減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 36,577百万円 営業外費用(企業債利息等) 3,424百万円 特別損失(固定資産売却損等) 80百万円
資本的収支	水道事業資本的収入	136億26百万円 131億30百万円 122億69百万円	企業債 9,800百万円 国庫補助金 2,800百万円
	水道事業資本的支出	412億99百万円 410億27百万円 412億89百万円	建設改良費(改良費等) 27,547百万円 企業債償還金 13,753百万円

※ 単年度損益	24億77百万円 20億58百万円 39億71百万円
---------	----------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

大阪広域水道企業団 平成28年度当初予算案の概要

計数調整中

予算額(収益的支出と資本的支出の合計額)

工業用水道事業会計	平成28年度当初予算額	125億57百万円
	平成27年度当初予算額	119億89百万円
	平成27年度最終予算額	117億17百万円
	前年度比 (28年度当初/27年度当初)	104.7%

前年度当初比 +5億68百万円

(主な増減要因) 収益的支出 ・動力費 △1億25百万円 (電気料金単価変動による減)

資本的支出 ・増補改良費 △2億68百万円 (中期整備事業計画に基づく事業費の減)
 ・投資有価証券 10億0百万円 (平成27年度償還分再投資による増)

上段 平成28当初
 中段 平成27当初
 下段 平成27最終

事業名		事業費	主な内容
収益的収支	工業用水道事業収益	83億84百万円 93億44百万円 92億85百万円	営業収益 (工業用水給水料金等) 7,600百万円 ・基本使用水量456,000m ³ /日、使用水量269,000m ³ /日、超過水量9,100m ³ /日 営業外収益 (長期前受金戻入等) 682百万円 特別利益 (減量廃止負担金) 102百万円
	工業用水道事業費用	72億75百万円 74億83百万円 72億98百万円	営業費用 (減価償却費、動力費、薬品費、修繕費等) 6,674百万円 営業外費用 (企業債利息等) 531百万円
資本的収支	工業用水道事業資本的収入	10億72百万円 11億25百万円 11億21百万円	投資有価証券償還金 1,000百万円 工事負担金等 72百万円
	工業用水道事業資本的支出	52億82百万円 45億6百万円 44億19百万円	建設改良費 (増補改良費等) 2,210百万円 企業債償還金 1,072百万円 投資有価証券 2,000百万円

※ 単年度損益	9億44百万円 16億81百万円 19億15百万円
---------	---------------------------------

※消費税及び地方消費税を除いた収益的収支の差額

平成28年度主要事業の概要

〔 水 道 事 業 会 計 〕

上段 平成28当初
中段 平成27当初
下段 平成27最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	258億11百万円 242億10百万円 242億 4百万円	<p>施設の耐震化や老朽施設の更新、供給系統の二重化など府内受水市町村への安定供給を維持するとともに、災害に強い水道施設の整備を進めるため、浄水・送水施設等の改良更新事業を着実に推進する。</p> <p>(1) 震災対策 176億77百万円</p> <p>震災時においても最低限の社会経済活動を維持できる信頼性の高い水道システムを整備する。</p> <p>① 災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス送水管の整備 〔藤井寺ポンプ場～松原ポンプ場～泉北浄水池〕 ・系統連絡送水管の整備 〔庭窪～万博〕 ・松原ポンプ場築造工事 ・阪南・岬バイパス（仮称）基本設計委託【新】 <p>② 既設構造物の耐震化</p> <p>ア) 浄水池の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里浄水池更新工事【新】 ・万博公園浄水施設浄水池耐震補強工事 ・泉北浄水池更新及びポンプ棟築造工事【新】 <p>イ) 水管橋の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管橋耐震補強工事 〔豊川水管橋・茨木市〕 〔7 抔石澄川水管橋・池田市ほか〕 〔釈迦坊川水管橋ほか1 橋・阪南市〕【新】 〔番川水管橋・岬町〕【新】 <p>(2) 安定化対策 51億49百万円</p> <p>安定的な水処理業務等を行えるよう、施設整備を実施する。</p> <p>① 市町村水道との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送水管布設工事〔千里幹線バイパス管、河南連絡管〕 ・分岐改良工事〔奈佐原分岐・高槻市〕 〔茄子作分岐・交野市〕 ・あんしん給水栓改良工事 <p>② 水道施設のセキュリティー対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯島取水場防犯設備更新維持事業 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭窪浄水場後ろ過棟築造工事 ・庭窪浄水場後ろ過施設設備工事

注) 【新】は平成28年度新規事業

上段 平成28当初
 中段 平成27当初
 下段 平成27最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給（続き）		
1. 改良更新事業の推進 (続き) 2. 計画的な整備事業の推進	16億0百万円 0百万円 0百万円	(3) 老朽化対策 18億25百万円 安定かつ効率的な施設運用が行えるよう、老朽化施設の改良更新を実施する。 ・磯島取水場導水ポンプ電気設備改良工事 ・村野浄水場 階層系オゾン設備更新維持事業【新】 (1) 管路更新計画の策定 16百万円 老朽度・重要度・事故時の影響度を考慮した上工水管路の本格的な更新検討を実施する。 ・管路更新検討委託 16百万円
II. 安全・安心で良質な水		
1. 水処理課題への対応 2. 水質管理の共同化の推進 3. おいしい水のPR	16億94百万円 4億11百万円 4億11百万円 (※ 再掲分含む) 1億88百万円 2億6百万円 2億6百万円 8百万円 8百万円 7百万円	(1) 新たな水処理課題への対応 16億94百万円 既存の高度浄水処理に「後ろ過」を追加することで、より効率的・安定的な浄水処理を行う。 ・庭窪浄水場後ろ過棟築造工事（再掲） ・庭窪浄水場後ろ過施設整備工事（再掲） ・村野浄水場W系施設更新基本設計委託【新】 (1) 市町村水質共同検査 60百万円 水質管理センターにおいて、企業団構成市町村水道における水質検査を共同処理する。 (2) 河南水質管理ステーションの運営 1億28百万円 河南地域（富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村）における水質管理業務を共同処理する。 (1) 市町村との共同PR（利き水会の開催） 6百万円 市町村でのイベント等において、水道水（高度浄水処理水）と市販飲料水の利き水を行うことにより、企業団や受水市町村の取組みをPRする。 (2) 出かける浄水場の実施 2百万円 職員が府内小学校に出向き「安全でおいしい水づくり」について学習の機会を提供する。

注) 【新】は平成28年度新規事業

上段 平成28当初
 中段 平成27当初
 下段 平成27最終

事業名	事業費	主な事業内容の説明
III. 持続可能な事業運営		
<p>1. 広域的な事業運営</p> <p>4億 4百万円 5億 7百万円 5億 7百万円 (※ 再掲分含む)</p> <p>2. スリムな組織</p> <p>1億44百万円 16百万円 16百万円</p>		<p>(1) 広域化の調査検討 41百万円</p> <p>四條畷市・太子町・千早赤阪村との水道事業の統合に係る検討に加え、新たに企業団と統合協議を行う団体との水道事業の統合に係る検討や、ブロック単位での広域化調査を行う。</p> <p>(2) 事務の共同処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害用備蓄水の共同製作 9百万円 (7団体 約7万本) ・河南水質管理ステーションの運営 1億28百万円 (再掲) <p>(3) 市町村との連携拡大 2億26百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島本町大藪浄水場中央管理センター更新工事 ・島本町大藪浄水場受配電設備更新工事 ・河南町大宝高区配水池整備工事 ・藤井寺市道明寺浄水場更新工事 ・千里浄水池共同ポンプ場築造詳細設計委託【新】 <p>(1) 更なる業務の効率化及び組織のスリム化 1億44百万円</p> <p>安定給水を確保しつつ、更なる業務の効率化を図るため、新たな視点に立ったアウトソーシングや業務改善等を積極的に検討し、可能なものから実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭窪浄水場ほか 運転管理委託 ・総務業務センター運営委託
IV. 環境保全		
<p>1. 廃棄物の有効活用の推進及び適正処理</p> <p>2億78百万円 4億25百万円 4億25百万円</p> <p>2. 環境に優しい水道事業体を目指す取組み</p> <p>2百万円 2百万円 2百万円 (※ 再掲分)</p>		<p>(1) 浄水発生土の有効活用の推進 1億90百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村野浄水場排水処理関連施設運転管理業務 ・浄水発生土有効利用等業務 <p>(2) PCB廃棄物の適正処理の推進 88百万円</p> <p>(1) 環境学習の実施 2百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出かける浄水場の実施 (再掲)
V. 国際貢献		
<p>1. タイMWAパートナーシップ協定に基づく技術交流</p> <p>4百万円 4百万円 4百万円</p>		<p>(1) タイ王国首都圏水道公社 (MWA) との技術交流の取組み 4百万円</p>

注) 【新】は平成28年度新規事業

平成28年度主要事業の概要

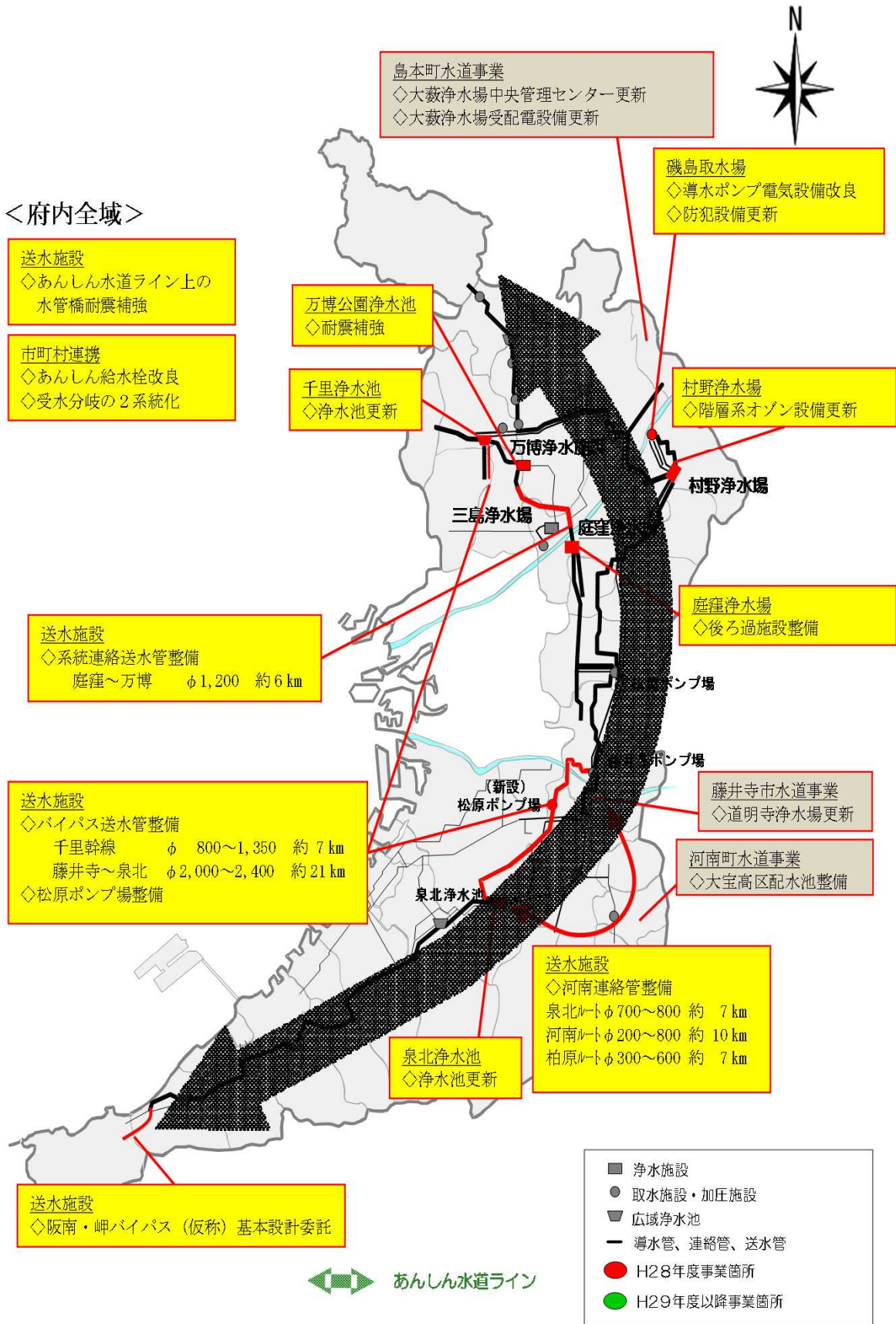
〔 工業用水道事業会計 〕

上段 平成28当初
 中段 平成27当初
 下段 平成27最終

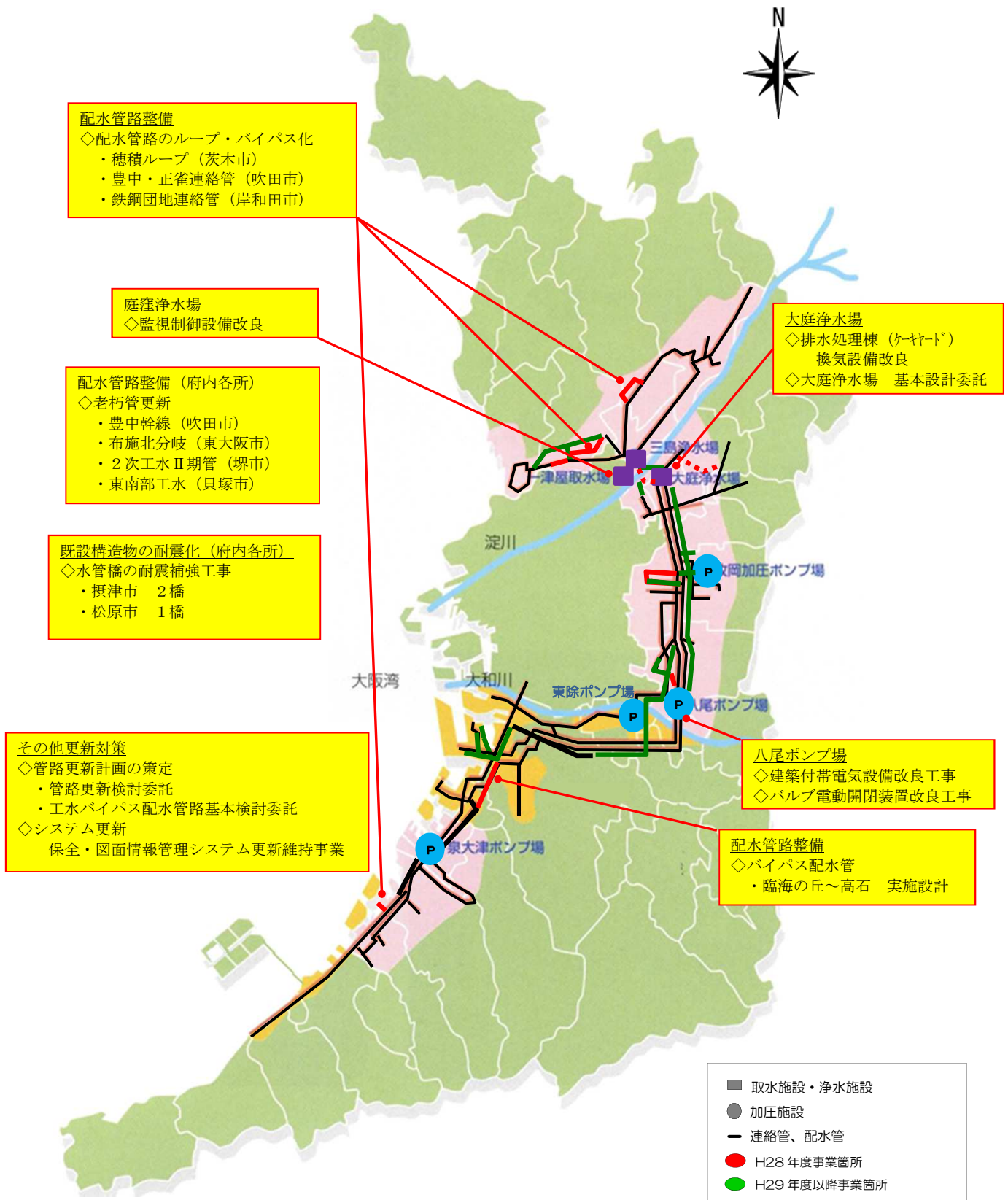
事業名	事業費	主な事業内容の説明
I. 安定供給		
1. 改良更新事業の推進	22億10百万円 24億78百万円 23億91百万円	<p>工業用水の安定供給を通じて、産業基盤施設としての役割を果たして行くため、特に優先して整備すべき施設から効率的に整備する。</p> <p>(1) 震災対策 3億44百万円</p> <p>①災害に対する安全性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス配水管の整備 〔臨海の丘～高石・堺市、高石市〕 【新】 <p>②既存構造物の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管橋下部耐震補強工事 〔北別府水管橋、東別府水管橋・摂津市〕 ・水管橋落橋防止工事 〔西除川水管橋・松原市〕 <p>(2) 安定化対策 7億84百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大庭浄水場 排水処理棟換気設備改良工事 ・庭窪浄水場監視制御設備改良工事 【新】 ・配水管布設工事 〔穂積ループ・茨木市〕 2工区 【新】 〔豊中正雀連絡管・吹田市〕 〔鉄鋼団地分岐・岸和田市〕 <p>(3) 老朽化対策 8億50百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管更新工事〔2次工水2期管・堺市〕 ・配水管布設替工事等 〔東南部工水・貝塚市〕 〔布施北分岐・東大阪市〕 6・7工区 ・保全・図面情報管理システム更新維持事業 ・大庭浄水場 基本設計委託 ・八尾ポンプ場建築付帯電気設備改良工事 【新】 ・八尾ポンプ場バルブ電動開閉装置改良工事 【新】
2. 計画的な整備事業の推進	36百万円 0百万円 0百万円	<p>(1) 管路更新計画の策定 36百万円</p> <p>老朽度・重要度・事故時の影響度を考慮した上工水管路の本格的な更新検討を実施する。また、大庭浄水場から忠岡間に布設するバイパス配水管の運用方法、事故時の対応、減圧設備の設置場所等の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路更新検討委託 15百万円 ・工水バイパス配水管路基本検討委託 21百万円
III. 持続可能な事業運営		
1. スリムな組織	87百万円 6百万円 6百万円	<p>(1) 更なる業務の効率化及び組織のスリム化 87百万円</p> <p>安定給水を確保しつつ、更なる業務の効率化を図るため、新たな視点に立ったアウトソーシングや業務改善等を積極的に検討し、可能なものから実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭窪浄水場ほか 運転管理委託 ・総務業務センター運営委託

注) **【新】**は平成28年度新規事業

平成28年度の主要事業（水道事業）



平成28年度の主要事業（工業用水道事業）



広域化の調査検討について

～今後の水道事業広域化に向けての検討～

1 事業概要

○水道事業の広域化に関する調査委託

広域化の推進に向けて、企業団と統合意向を示した団体との統合に向けた課題・効果について、また広域化の要望のあるブロックを対象とした、水質管理、水運用管理、施設運転管理等の業務の共同化について、調査・検討を行う。

○四條畷市・太子町・千早赤阪村との水道事業の統合に係る検討委託

平成 29 年 4 月の企業団と四條畷市・太子町・千早赤阪村（以下、「3 団体」という）との水道事業の統合に向けて、事業認可（創設認可）等に必要な検討（最新（平成 27 年度）データによる水需要予測の確認等）を実施する。

2 スケジュール等

時期		作業内容等
平成 26 年度	4 月 22 日	調印式（水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書）
	6 月～ 7 月 4 日	統合検討協議作業部会の設置（統合素案の検討） 「水道事業及び水道用水供給事業の統合に係る検討業務委託」契約 （統合素案の作成等）
平成 27 年度	7 月 17 日	「大阪広域水道企業団と四條畷市・太子町・千早赤阪村との水道事業統合検討業務委託」契約 （H29～H38 年度までの整備内容、事業認可（創設認可）申請資料、交付金申請資料作成等）
	7 月 30 日	統合素案について、首長会議により全会一致で統合案として承認
	9 月～	水道事業統合準備 P T の設置 3 団体の議会において、統合に関する議案（規約改正案）が可決
	12 月 1 月	他の団体の議会において、統合に関する議案（規約改正案）を審議 大阪府への規約変更許可申請 統合に係る協定書の締結（3 団体と企業団）
平成 28 年度	4 月～	四條畷市・太子町・千早赤阪村との水道事業の統合に係る検討委託(仮称)発注 生活基盤施設耐震化等交付金申請（概算要求） 事業認可（創設認可）申請 統合準備（給水条例案及び予算の調整等） 大阪府議会において、大阪府広域的な水道整備計画の改定について審議
	2 月	企業団において、給水条例案及び予算案を審議
平成 29 年度	4 月～	事業開始

3 事業費

平成 28 年度当初予算(案) 40,897 千円

市町村水道事業の個別業務（設計・工事）を4件受託

～市町村水道事業を支援～

1 受託の背景等

府域の水道事業は、水需要の減少に伴う料金収入の減少をはじめ、老朽化した施設の更新や耐震化等に伴う支出の増加、ベテラン職員の大量退職による技術継承問題など、厳しい経営環境の中にあります。

企業団ではこのような課題に対応し、府域水道事業の技術力を確保していくため、水道事業の受託・技術的支援を行うこととしており、市町村水道事業の個別業務（設計・工事）の受託を平成 25 年度から開始しております。

これまで、平成 25 年度 1 件、平成 26 年度 2 件、平成 27 年度 1 件を受託しており合計 4 件の設計・工事を実施しております。

2 事業概要

(H25 年度～)

① 河南町 大宝低区及び高区配水池の耐震化に係る実施設計・工事

・事業費 平成 28 年度当初予算(案) 115,020 千円 (総事業費【概算】 3～4 億円程度)

(河南町からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール (予定)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
低区 実施設計	→			
高区 実施設計		→		
低区 工事			→	
高区 工事				→

(H26 年度～)

② 藤井寺市 道明寺浄水場の更新に係る実施設計・工事

・事業費 平成 28 年度当初予算(案) 44,388 千円 (総事業費【概算】 13 億円程度)

(藤井寺市からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール (予定)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28～32 年度
調査	→		
実施設計	→	→	
工事			→

③ 島本町 大藪浄水場 中央管理センターの更新に係る実施設計・工事

・事業費 平成 28 年度当初予算(案) 8,866 千円 (総事業費【概算】 5～6 億円程度)

(島本町からの委託料収入により実施)

・事業スケジュール (予定)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
実施設計	→	→	→	
工事			→	→

(H27 年度～)

④ 羽曳野市 配水管整備に係る実施設計・工事

・事業費 平成 28 年度以降の予算について

本事業は企業団発注の送水管整備工事と併せて実施するものであり、来年度の企業団の工事範囲に羽曳野市の工事区間が含まれていないため平成 28 年度については予算化しない。

平成 29 年度以降で総事業費【概算】 3 億円程度必要。但し、羽曳野市からの委託料収入により実施することとする。

・事業スケジュール (予定)

	平成 27 年度	平成 28～38 年度
実施設計	→	
工事		→

配水管布設工事について

～バイパス・臨海の丘～高石間～

1 工事概要

工業用水道施設の老朽化に伴う施設更新時の代替能力や、施設事故時に備えたバックアップ能力を確保するため、影響が大きい配水幹線のバイパス配水管を整備するものである。

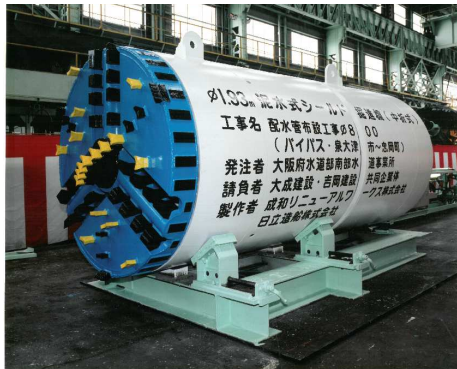
施設整備マスタープランでは、八尾市新家～忠岡町の間を整備を位置付けており、第3期中期整備事業計画として、臨海の丘～高石間のバイパス配水管整備に着手します。（平成34年度完了予定）

平成28年度は、バイパス配水管布設のために必要な実施設計・測量・土質調査委託を実施します。

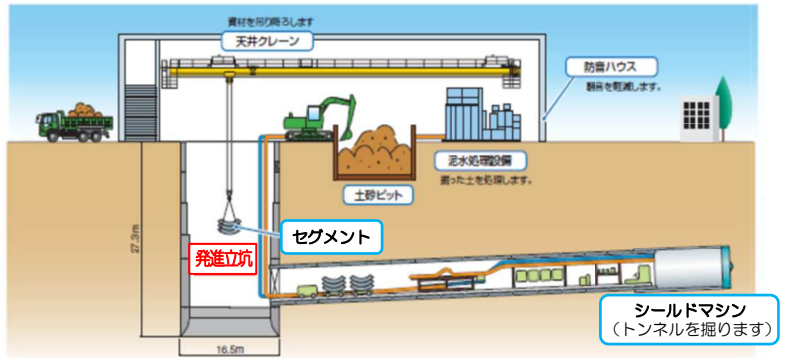


2 施工方法

本件は幹線道路下に配水管を布設することとなるため、通行車両及び地下埋設物への影響を考慮し、シールド工法にて構築したトンネル内に配水管を布設します。



シールドマシン (イメージ)



シールド工法の概要 (イメージ)

3 事業費

平成28年度 当初予算(案) 92,124千円

平成29年度 債務負担額 58,320千円

〈参考〉

(単位:千円)

	H28	H29	H30	H31	合計
実施設計委託	0	58,320	—	—	58,320
測量委託	36,828	—	—	—	36,828
土質調査委託	55,296	—	—	—	55,296
土木工事*	—	(300,000)	(600,000)	(600,000)	(1,500,000)
合計	92,124	58,320			

※ 土木工事は、施設整備マスタープランにおける第3期中期(H27～H31)期間中の事業費に基づく。